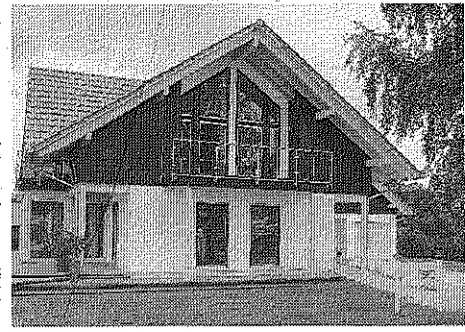


# 好評のヴァイニツヒ欧州ツアー ビジネスモデルや差別化の 切り口を提供

ミカエル・ヴァイニツヒ・ジャパン(神戸市)の欧州・木材加工見学ツアーが好評を得ており、1年に3~5回のペースという高い頻度で開催されている。ここでは「欧州を地盤に世界をリードする企業」や「欧州で生き残りを図る小規模工場」の実際の加工現場を紹介することで、新たなビジネスモデルや差別化の切り口を提供。特に欧州では原木の製材から完成品製造まで一貫した生産体制を構築するメーカーが多く、加工メーカーの川下化戦略には何らかのヒントが提供できるとする。



①シュヴェーラーハウス社のモデル住宅

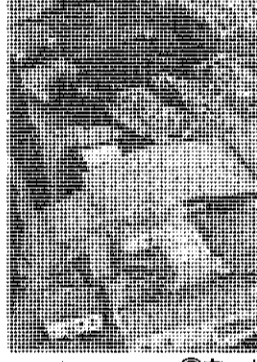
家族経営の小規模工場にあるように様々な製材工場の見学会と、新たな木質素材技術としての注目を集める「デンンドロライト」のプレゼンテーション。特にデンンドロライトについては今月から生産開始する新工場の見学会が行われるほか、様々な素材が企画されている。ツアアの見所は、年間1000棟の住宅供給能力を持つ大手ハウスメーカー「シュヴェーラーハウス社」や木製窓枠用素材メーカー「ミュンヒンガー・ホルツ社」、広葉樹専門の製材メーカー「カール・ニード社」そして、販売まで行う大規模な木造住宅メーカー「ドイツ・ファミリー」など。また、次工程となるフィンガージョイント(写真②)でも同様の合理化、省人化を実現。さらに、枠組み壁パネル加工においても羽柄板やランバーに混在する節や割れなどの欠点、そして様々なグレ

## 超大型工場から 小規模工場まで網羅

ソリッド系木材加工で世界最大の木工機械メーカー・ヴァイニツヒグループ(ドイツ)は世界中に販売網を持ち、大量生産工場から少量多品種生産工場まで、26日まで行われるものから、省人化された工場

「シュヴェーラーハウス社」のモデル住宅は、家族経営の小規模工場にあるように様々な製材工場の見学会と、新たな木質素材技術としての注目を集める「デンンドロライト」のプレゼンテーション。特にデンンドロライトについては今月から生産開始する新工場の見学会が行われるほか、様々な素材が企画されている。ツアアの見所は、年間1000棟の住宅供給能力を持つ大手ハウスメーカー「シュヴェーラーハウス社」や木製窓枠用素材メーカー「ミュンヒンガー・ホルツ社」、広葉樹専門の製材メーカー「カール・ニード社」そして、販売まで行う大規模な木造住宅メーカー「ドイツ・ファミリー」など。また、次工程となるフィンガージョイント(写真②)でも同様の合理化、省人化を実現。さらに、枠組み壁パネル加工においても羽柄板やランバーに混在する節や割れなどの欠点、そして様々なグレ

羽柄プレカット機械の導入で枠組みパネルの自動生産化や最下流の住宅の建築販売までを網羅するようになった。加工の最上流となる原木製材は、欧州の大型製材に見られるチップキヤンター式の自動製材ラインが稼働し、原木投入量は年間20万立方メートル。



③カール・ニード社全貌

ード部位を「プロファイレス・ヴァオレタ アイニツヒ製」の設備が目視で導入を済ませた上、コチエックシントレックス(※)やターキン マシニングセンターなどグ。この作の導入も検討している業は直ちに「とする。(※)コン加工機に反トレックス・ヴァイニツヒの立体成形加工をの日に必要自動で行う木工マシンングセンター) 少人数でジャスト インタイム製材 また、ツアー参加者て最高の歩から人気が高いという留まりが得 家族経営の小規模梱包

一方、広葉樹製材のカール・ニード社(ドイツ・写真③)は家具部材やフローリング素材材用のラミナなどが生産されており、年間10万立方メートル(製品量)を投入。このラミナ生産ラインはヴァイニツヒ社の高速モルターとマイクロナック社のスキャナーを連動させた省人化ラインで、材料投入から寸法別組み取りまでを自動ライン化。当然、材料状態(欠点やグレード)に合わせた最適木取り加工が行われる。また、次工程となるフィンガージョイント(写真②)でも同様の合理化、省人化を実現。さらに、枠組み壁パネル加工においても羽柄板やランバーに混在する節や割れなどの欠点、そして様々なグレ

同工場のポイントには、原板から製品に至るオートマイジングラインで、高級ムク材を最も高の歩留まりで生産する体制を構築。原板をリッパ加工(縦割)り、製造については仕入れ業者にまかせるケースが増えている。そこで当社では、より完製品製造に近づくこと最適な木取りを実施。ここでは、1枚の原板やランバーに混在する節や割れなどの欠点、そして様々なグレ

同工場のポイントには、原板から製品に至るオートマイジングラインで、高級ムク材を最も高の歩留まりで生産する体制を構築。原板をリッパ加工(縦割)り、製造については仕入れ業者にまかせるケースが増えている。そこで当社では、より完製品製造に近づくこと最適な木取りを実施。ここでは、1枚の原板やランバーに混在する節や割れなどの欠点、そして様々なグレ

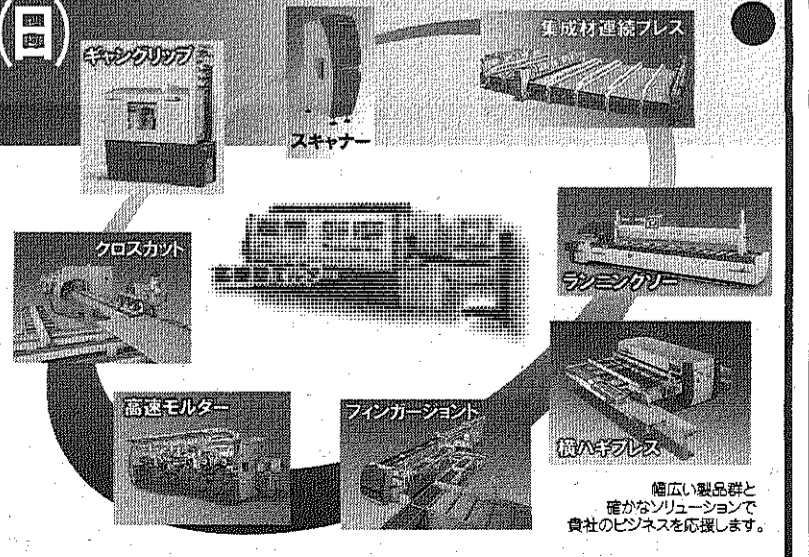
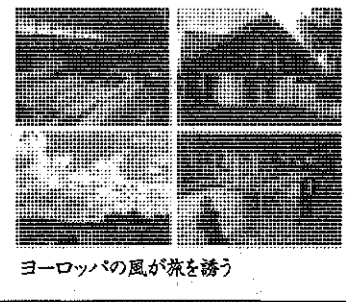
同社は小規模ながら、年商規模を伸ばし、少量生産体制の合理化を推進。この取り組みが奏功し、周辺工場数はこの20年で約2割まで減したが、ドプファー社は確固たる地盤を確保している。

## ヴァイニツヒ・ツアー 10月18日(土)~26日(日) 製材・デンンドロライト/締切り迫る!

世界中の先端工場を知り尽くしています  
一歩先のヒントを探しに行きませんか...

- 集成材工場、家具部材工場、梱包装材  
大手ハウスメーカー、デンンドロライト工場など
- ①ベルガー・デンンドロライト社 (デンンドロライト工場、ワークショップ開催)
  - ②ベールバアガー社(デンンドロライト2次加工・家具部材製造)
  - ③ドプファー社(梱包装材・製材工場)
  - ④シュヴェーラー社(大手ハウスメーカー、原木からの一貫生産)
  - ⑤カール・ニード社(広葉樹製材、家具部材メーカー)
  - ⑥ミュンヒンガー社(木製窓枠用集成材、横ハギパネル、ドア材)
  - ⑦ホマン・イエンセン社(集成材パネルメーカー)
- その他、ヴァイニツヒ各社も見学
- ▼参加費：44万円  
(エコノミークラス航空運賃、宿泊代、食事代を含む)  
▼締め切り：9月10日(水) ▼担当：池田

例えば、欧州には原木製材から住宅販売まで一貫製造販売する企業があります。加工の川下化を様々な切り口でサポートします。



WEINIG GROUP  
ミカエル・ヴァイニツヒ・ジャパン株式会社  
〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭  
Tel.078-871-7481 Fax.078-871-7488  
e-mail:info@weinig.co.jp